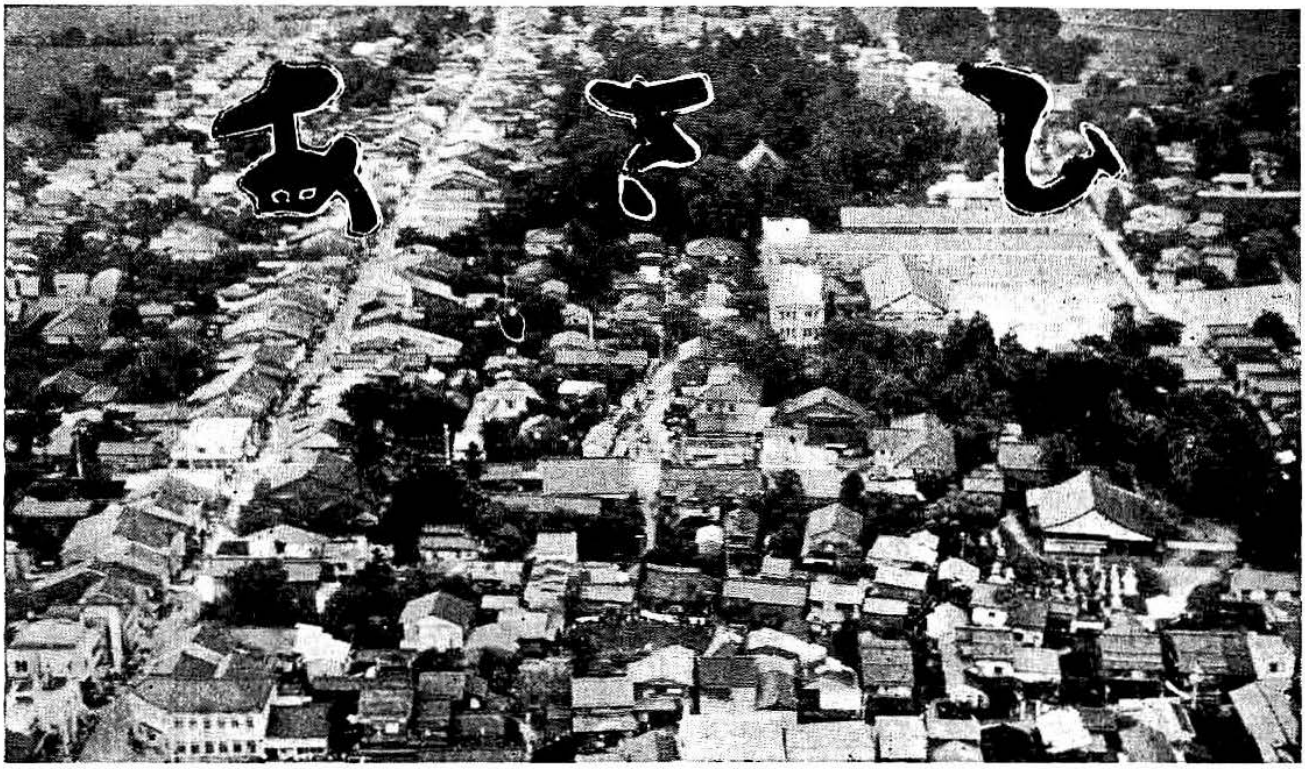

〈空から見た泊〉

小学校の統合について (三)

朝日町教育委員会

三、小学校統合の基準

学校の適正規模ということが統合を考える際に最も大切なことである学校の規模と教師の数、学校の大きさと学力あるいは社会性、さらに経費の効率等が違ってくるからである

(1)教育組織と学校規模

学校教育活動の主体はもちろん教師である。教師の質と量は、教育効果を左右する最大のものである。一つの学校が五学級以下となった場合、最低限度必要な教員数の配置すら困難になるのが実情である。最小限一学年一学級を保っていける程度でないと教員数において不利となる教育効果から云えば、一般的に十二学級から十八学級程度が最も適当であるという結論が出ている。

(2)児童の学力と学校の規模

学力は一般的に考えて、そのもの素質すなわちその知能、体力、努力および教育組織、学校の施設設備友人関係、家庭環境、地域社会の文化的社会的状況等の総合力によってほぼきまるのではなかろうか。この点から、ある程度までは大きい方が学力がつくようである。

(3)児童の社会性と学校規模

児童が将来社会的に大きく広く活躍するためには、小学校時代からその社会性を養わねばならぬ。そのためには適正な大きさが必要である。例えばクラブ活動、グループ活動を行うにしても、団体競技を行うにも同級生が少いのではお互いに啓発あう力が乏しくなる。

(4)経費の合理化と学校の規模

学校教育を効果的に実施するにはその施設設備の充実が重要な要素である。世界文化の急速な進みに伴って教育の内容も複雑化してきている視聴覚教育や技術教育が高度化されてきている今日、その施設設備の充実の程度いかんが教育効果を左右する。従ってそれが児童の将来の活動能力に多分に影響を与えるのである小規模の学校では児童一人あたりの学校経費が割高になるので、その学校の施設設備等が貧弱にならざるを得ない。

経費面からしても学校規模は十二学級から十八学級程度が望ましい。

(5)大規模学校の是非

限度を超えて過大になると、教育効果はもちろん経費の面でも好結果を期待し得ないのが一般的に考えられることである。それは

A校長の指導力がうすれる（特例はあるが）。

教員相互の親近感がうすれ、教員間の連けいが円滑に行われ難く、一体化活動が不利な場合が多い。

B児童も担任教員以外すなわち校長や他教師からの補導面に劣るものがありがちである。

C十八学級以上になると事務量が増加する。

D施設設備においても経費の増加するものが出てくる。例えば理科について考えてみても、限度をこえて学級数がわずか一つ超過しても理科室や備品が二室（分）を要することになる。

そのほか図工、音楽、体育等と倍増の施設設備が考えられる。

教師の活動能率向上のために、教員の週間担当時数の低下が望ましいことを考えると、さらにこのことが気になる。

E適正規格をこえて三十学級以上になる場合は適当に二分して二校にした方が教育的にも経常費の面でも効果があがるのである。

(6)適正規模

適正規模は全国的データーから結論づけられたのが十二学級から十八学級程度となっている。

以上文部省の手引をもとにして学校統合の概略を述べました。

最後に文部省が最もおそれていることを申しあげて教育委員会から特にお願いいたします。

大所高所から考えない統合、全体的の視野の上から考えない統合、将来の町づくりの計画に基かない統合の行われることは恐ろしいことです。現在の町の姿勢をもとにした統合論、一部の地区や一つの学校の都合のみを考えての統合論、一時的な情熱のほとばしりの主観的な統合論にまどわされ、大局を忘れて動くことのないよう文部省も厳く戒めております。

百年の大計たる都市計画の一環として学校統合が行われるのでありますから、この都市計画のもとを究めぬ独走的意見があるとすれば、全町民に迷惑をかけることになるので、慎重に大局的に研究したいものです。

学校統合に特別の熱意を持ってご研究の方に対し敬意を表しますとともに、釈迦に説法になって恐縮ですがどうか「学校統廃合」を綿密にして妥当な新しい町づくり即ち都市計画の一切を基礎として大局的全体的に妥当適正かつ高度な精神をもってご研究くださった成果を教育委員会にご教示たまわりますならば、町のため、町民のため、学校のための貴重な啓示としてありがたく拝聴するものでございます。

昭和38年度 朝日町民体育大会種目

期日　十一月三日（日）雨天中止
会場　朝日町小丸山グラウンド
集合　午前九時
一、採点種目
(1)小学校　六〇〇米継走
四、五、六年男女各一名
(2)中学校　九〇〇米継走
一、二、三年男女各一名
(3)宇宙旅行継走（男）
年令自由　人員一〇名
(4)豊年継走（女）
年令満二六才以上
人員一五名
(5)青年八〇〇米継走（男女）
年令満二五才以下
人員　男三名　女三名
(6)ゴールハイ継走（男）
年令満二六～四五才
人員　一五名
(7)紅白玉入れ（男女）
年令満四六才以上
人員　男一二名　女一二名
(8)年令別九〇〇米継走（男女）
人員　男五名　女五名
二、採点外種目
(1)おてつないで（男女）
年令満二五才以上
人員　男二名　女二名
(2)二人三脚（男女）
年令満二六才～四〇才
人員　各地区二組（八〇米）
(3)綱越しボール（男女）
年令満四一才～五〇才
人員　男二名　女二名
(4)びん倒し継走（町内会長全員）
三、地区対抗二、〇〇〇米継走（男）
中学生、高校生、青年満二六才以上各一名
四、団体演技種目
(1)保育所遊戯
(2)町民ラジオ体操（第一体操）
(3)小、中学校マスゲーム
(4)婦人会民謡踊り
五、その他
(イ)各種目の組分けは各地区代表者によって抽せんする。
(ロ)採点は五位までとし、一位五点～五位一点とする。
(ハ)綜合成績は得点の最高より順とする。同点の場合は高位の多少による。なお同点の場合は抽せんする。
(ニ)授賞は綜合優勝旗、次勝杯、参勝楯を授与する。
(ホ)一人一種目とする（採点種目、採点外種目を問わず）但し地区対抗二、〇〇〇米継走のみ兼ねてもよい。
(ヘ)昨年度（第九回大会）は雨のため中止しましたので、今年の種目等は昨年の種目と同じであり今大会を第九回大会とします。

郷土出身の仙名秀雄氏 渡欧記念洋画展開く

目下武蔵野美術大学の講師としてまた二科会の会員として中央に活躍中の郷土出身の新鋭画家仙名秀雄氏（山崎出身）は明春フランスを中心にヨーロッパ各地で洋画の研究に専念することになり、これを記念して九月二十一日から二十五日までの五日間、富山商工奨励館で個展を開催し、その独自の画風は大方の好評を博した。本県では吉田知事外多数の県議会議員、本町でも鹿熊県議、本村町長、小坂町議会議長外多数の同好者、文化人等が氏の事業を後援者として尽力しておられますが、県外で活躍の郷土出身の美術家や芸能人文化人に対しては広く町民全体の後援が望ましいものです。

仙名秀雄氏略歴
一九二七年旧山崎村に生まれ、入善農学校卒業後京都において北野以悦氏に日本画を学ぶ。
一九四六年山崎小学校、小川中学校泊中学校に奉職。
一九四七年県展入選、一九四八年読売アンデパンダン展出品、引き続き独立美術展記念賞を受ける。
一九五二年武蔵野美術大学卒業、同年以来毎年二科展に出品するとともに、例年銀座画廊において個展を開き現在に至る。

出場全種目に優勝

県体 日東紡女子選手

去る県民体育大会に下新川郡代表として陸上競技に出場した日東紡女子チームは、出場全種目に優勝するという偉業をなしとげました。

成績
△百米
一位　近藤由美子　一三秒四
△八十米障害
一位　松浦美津子　一四秒二
△走巾跳
一位　松浦美津子　五米〇六
△砲丸投
一位　田原サツエ　一〇米四三
△槍投
一位　田原サツエ　二五米九〇
△四百米継走
一位　米原幹子、近藤由美子
松浦美津子、田原サツエ

簡保週間

簡易保険でつかむ生活の安定

豊かな郷土を簡易保険の資金で

大正五年十月一日にはじめられた簡易保険はこの十月一日で四十七周年目をむかえました。

いうまでもなく、簡易保険は国営の生命保険事業で、現在契約高二兆八千億円、保育資金一兆円を突破するという巨額に達しています。

この資金が国民生活の福利増進のために活用されていることは今さら申すまでもありません。

朝日町でも現在八千二百万円の融資を受けて住みよい郷土建設に向かっています。

こぞって簡易保険に加入しましょう。

毎月5の日は税の相談日

魚津税務署では毎月五、十五、二十五日（五の日が日曜祭日にあたるときはその翌日）の月三回「税の相談室」を設けて、署の幹部がみなさんの相談に応じています。お気軽にご利用ください。

税務署より遠方のため出署が困難な方のためには、町役場に相談の中つぎをしていただくことになっています。

おわび

本紙九月号「小学校の統合について」の推定児童数のうち一部誤りがありましたので訂正いたし、お詫び申しあげます。（太字―訂正箇所）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
宮崎小学校 38年	18	18	18	30	24	22	130
39年	12	18	18	18	30	24	120
40年	12	12	18	18	18	30	108
41年	8	12	12	18	18	18	86
42年	6	8	12	12	18	18	74
43年	16	6	8	12	12	18	72

優生保護法と計画出産

泊病院副院長兼産婦人科医長
川上十一

最近週刊紙上で、サリドマイド人体実験手記が発表されて以来、ジャーナリズムの間で人口妊娠中絶に関連して優生保護法が論議されていますが、優生保護法は優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに、母性の生命健康を保護する法律であって、決して人工流産法ではありません。

近頃堕胎が簡単に出来ると思って医師を訪れる方がありますが、初産婦の場合は軽卒に人工妊娠中絶を行ってはいけません。

その理由は、(イ)次回の妊娠が困難で、一生子供が出来なくなる場合があります (ロ)習慣性流産の原因になります。(ハ)うまく妊娠出来ても分娩の時にいろいろな障害を起こすことがあります。(ニ)子宮内膜炎、卵管炎などに罹り、子宮外妊娠の原因になりやすいとされています。(ホ)ごくまれには手術上の失敗で不幸な転帰をとることもあります。

以上述べたようにいろいろ面白くないことがありますから、最初の子どもだけはつとめて産むようにしてください。若い健康な男女が結婚すれば妊娠するのは当然ですから、まだ子供が欲しくない夫婦は早速医師か保健婦に一時的避妊の方法を教わり、それを実行します。われわれは喜んで相談に応じます。そして貯金も出来たし、生活も安定したら初めて子どもを作ります。これが本当の計画出産です。避妊に失敗したからといって手軽に人口妊娠中絶をするのは良い方法ではありません。

しかし妊娠または分娩が母体の生命に危険があるおそれがあるときとか、暴力によって妊娠させられた時とか、または悪い遺伝性疾患がある時は例外ですから医師に相談して善処してください。

前に述べたことと相反するようですが必要以上に人工妊娠中絶をおそれることはありません。よく中絶を数回繰返したら癌になると云われますが、そのようなことはありません

現に数人の子供を有し、母体の健康が著しく害されているときは、心配せずに医師に相談し治療を受け、早く健康な体になりましょう。これが優生保護法の本旨であります。

国民健康保険だより

みんなで導こう ちえのおくれた子

社会福祉制度も年を追って充実していますが、その運動の一環として知恵のおくれた子どもをみんなの力で導こうという趣旨のもとに、県下各市町村に精神薄弱者育成会が結成され、県の育成会にも加入して、地区の大きな組織活動として活発に運動しています。

朝日町においても知恵のおくれた不幸な子らのために、親や兄弟だけでなく、一般の方も一緒になって、ともに悩み、ともに考え、ともに行動して、不幸な子らを明るい将来へ導こうと、現在ある山崎小学校の特殊学級を助長し、これを中心に朝日町精神薄弱者(児)育成会を結成することになり、その結成総会を十月二十五日に行う予定になっています。

隣人が隣人を呼んで家庭悲劇から脱却し、親たちの同一の願いのための連絡と、社会啓発、終生の福祉を計るための運動を推進します。

この会の趣旨にご賛同され、加入を希望される方は担当地区の民生委員まで申し込んでください。

宝庫を拓き財源を豊かにする 電源開発に理解を求めて (六)

朝日町議会副議長
総合開発特別委員長　酒井栄

(2)固体燃料によるものについて

最近石炭燃料はその採炭能率が悪く物価高による労賃の上昇等のため、経済性の低下をきたしており、一方諸外国では新しい油田の開発等により、エネルギー資源としての石炭より能率が良くかつ経済性の優る石油に転換されつつあることはいろいろの意味で社会問題化する恐れがあるが、一応エネルギー資源としてのわが採炭可能埋蔵量は約二〇〇億トンである。石炭調査団の計画している年間採炭量は五、五〇〇万トンであるから、この程度の採炭では四〇〇年程度の維持が出来ると云われ、わが国においてはエネルギー資源として水力につぐ第二位にある。しかし石炭産業は斜陽化の傾向にあり、その経済性、地下ガス化採炭方法、貯炭方法輸送等についての技術経営面の改良を検討する必要があろう次に薪炭燃料であるが、わが国の森林蓄積は六六億石で年間の成長量は約一、八億石と推定されているが、現在実績の年間伐採量は三億石に近い量である。この中薪炭としては一億石程度(内木炭一、五〇〇万トン、薪七、〇〇〇万層積石)でパルプ、建設、その他の素材で一、四億石程度である。薪炭エネルギーはこゝ十数年来電力と石油エネルギーに切換えられつゝあるが将来は用材としてのみ木材利用を考えるべきであろう。(第二表)

(3)液体、気体等の流体および地熱によるもの

わが国の石油は大部分輸入に依存しているが、石油の賦存量は四、七〇〇、〇〇〇キロリットルと推定されているが、今後採鉱の進展により埋蔵量は増加するであろうが大きな期待は望めない。天然ガスは主として化学工業の原材料、燃料用として消費され年間約五、六億トン(三十四年度実績)の生産があり、近年その需要は年々増加しており、それが水溶性ガスであるため、その採取により地盤沈下の問題があるけれども、生産量は長期にわたり安定している地熱についてはわが国は有数の火山温泉国で、その源泉は一万ヶ所以上もあり、湧出湯量は石炭に換算すると四〇〇万トン以上といわれているが、その利用地点の経済性について調査研究する必要がある。(第三表)

(4)太陽熱および風力によるもの

晴天の日に地球表面に達する日射量は毎時平方米当り八四〇キロカロリーでこれは大体一キロワットの熱量に等しい。その放射エネルギーが一、八億粁米離れた地球全体に到達する量は毎時三六〇億キロカロリーの一四万倍という膨大な量である。これを五〇億年の昔より地球に与えている。わが国の年間日射時間は一、七〇〇～二、二〇〇時間であるから $1kw/m^2 \times 2,000h = 2,000kwH/m^2$ となる。この太陽熱の利用方法としては、レンズ等による高温利用や中低温利用、太陽電池による利用等が考えられるが、原子力利用と同様今後大いに開発する必要のあるエネルギー源と云える。

(5)原子力によるもの

わが国では未だエネルギー源としての利用は実用に供せられているものはなく、目下試験研究の段階であるが、計画としては本紙四月号で述べましたとおり昭和四十五年度迄に一〇〇万キロワットの開発が予定されている。

第2表　各国の石炭賦存量及び年最高生産量とその寿命

国名	賦存量 (10^9 屯)	年最高生産量 (10^6 屯)	寿命 (年)
米国	1,723	500	3,400
ソ連及共産圏	7,765	400	19,000
西独	836	140	600
イギリス	172	240	700
日本	20	6.5	300
オーストラリア	18.5	18	1,000
ニュージーランド	1.2	1	1,200
オランダ	12	58	200
ベルギー	11	35	300
計	10,558.7	1,457	7,300

第3表　主要国のエネルギー消費に占める石油の割合

年	イギリス	西ドイツ	フランス	イタリー	日本
1955	10.6	9.3	23.2	53.1	28.3
1961	27.2	24.8	36.6	73.8	49.2

梅沢ちゑさん

昭和38年

朝日町長寿番付

かぞえ年　85才以上

坂東いよさん

蒙御免

取締　朝日町議会議長　小坂満

検査役　朝日町長　本村本松

行司　朝日町老人クラブ連合会長　水島保綱
朝日町社会福祉協議会長　野田隆俊
朝日町民生課長　赤川重次

元勧進　朝日町老人クラブ連合会
朝日町民生課

西

横綱	坂東いよ	九六	泊
大関	車田ふじ	九四	山崎
関脇	舟川の	九三	泊
小結	水島のせ	九二	宮崎
張結	中島栄次郎	九一	南保
〃	出口こと	九一	山崎
〃	数家よし	九一	泊
前頭	大島きよ	九〇	五ヶ庄
〃	鹿熊ちよ	九〇	山崎
〃	南保清次郎	八九	泊
〃	上不いと	八九	山崎
〃	西田ちゑ	八九	五ヶ庄
〃	岡島きよえ	八九	五ヶ庄
〃	住久ひで	八八	泊
〃	沢木やよ	八八	大家庄
〃	渡辺しの	八八	泊
〃	名越もと	八八	大家庄
前頭	佐渡ふで	八八	五ヶ庄
〃	平野ちよ	八八	泊
〃	大村ちよ	八八	泊
〃	広川もと	八八	境
〃	大平吉太郎	八八	泊
〃	追分さと	八七	五ヶ庄
〃	古沢権太郎	八七	大家庄
〃	金井もよ	八七	五ヶ庄
〃	居波シカ	八七	泊
〃	沢崎サワ	八七	大家庄
〃	折谷さと	八七	笹川
〃	花房のよ	八七	山崎
〃	大井久次郎	八六	山崎
〃	佐渡つよ	八六	泊
〃	大沢たけ	八六	五ヶ庄
〃	岡本やす	八六	泊
〃	沢田寅次郎	八六	南保
前頭	魚津もと	八六	泊
〃	浜りせ	八六	五ヶ庄
〃	重田ふて	八六	五ヶ庄
〃	水島きの	八六	宮崎
〃	小沢ふじ	八六	大家庄
〃	水島栄太郎	八六	境
〃	坂東りせ	八五	泊
〃	水島よき	八五	泊
〃	越間菊次郎	八五	泊
〃	大菅すい	八五	泊
〃	根建きみ	八五	境
〃	松田まそ	八五	泊
〃	松田のよ	八五	五ヶ庄
〃	口岩市次郎	八五	宮崎
〃	加藤よき	八五	宮崎

東

横綱	梅沢ちゑ	九七	泊
大関	藤田むさ	九四	大家庄
張大	勝田しの	九四	五ヶ庄
関脇	村上をと	九三	泊
小結	勝原れい	九二	南保
〃	清水つよ	九一	大家庄
〃	水島清松	九一	宮崎
〃	七沢森平	九一	山崎
〃	善田りよ	九〇	南保
前頭	山崎市次郎	九〇	大家庄
〃	江淵ふじ	八九	南保
〃	竹内つよ	八九	笹川
〃	大菅つよ	八九	野中
〃	扇谷きよ	八九	宮崎
〃	加藤作次郎	八八	宮崎
〃	根建里く	八八	境
前頭	岩城かの	八八	泊
〃	長崎竹次郎	八八	南保
〃	上村ちい	八八	山崎
〃	川上菊次郎	八八	泊
〃	鍛治みよ	八八	五ヶ庄
〃	田中しの	八八	泊
〃	佃れい	八七	南保
〃	筒井すて	八七	泊
〃	竹谷竹松	八七	宮崎
〃	吉野いと	八七	大家庄
〃	渡辺たけ	八七	山崎
〃	湯口吉次郎	八七	山崎
〃	草原もと	八六	山崎
〃	九里富寛	八六	宮崎
〃	扇谷きよ	八六	宮崎
〃	金森ちい	八六	大家庄
〃	大島きよ	八六	五ヶ庄
前頭	小林しの	八六	笹川
〃	谷理之助	八六	五ヶ庄
〃	牧野嶽遵	八六	山崎
〃	大浜はよ	八六	宮崎
〃	松原ちい	八六	南保
〃	河村すけ	八五	泊
〃	大沢つた	八五	五ヶ庄
〃	水島とよ	八五	泊
〃	藤田いよ	八五	大家庄
〃	波間コノ	八五	宮崎
〃	水島保綱	八五	境
〃	寺田志げ	八五	泊
〃	加藤チヨ	八五	宮崎
〃	加藤きよ	八五	宮崎
〃	金田米次郎	八五	大家庄

第四回朝日町青年問題研究集会

一、主催　朝日町連合青年団
二、期日　昭和38年10月19日（土）～10月20日（日）
三、会場　笹川小学校
四、参加者　朝日町青年団員
五、会費　一人二五〇円
六、携行品　第一日夕食、米三合
七、内容
(イ)部会研究　「社会」「組織」「文化」
(ロ)キャンドルサービス
(ハ)、講義　県青協会長

オリンピアスでオリンピックに協力を

日本専売公社では、東京オリンピックの資金として三億円を寄附するために、五月下旬から「オリンピアス」を発売しています。
おおいにご愛用ください。
販売価格は六〇円です。

「住みよい郷土をつくる郵便貯金奨励運動」

10月1日～31日

わたくしたちの貯金は住みよいわたしたちの郷土建設に役立っています。

編集兼発行　朝日町役場
印刷所　両越印刷
送料　六円
定価　六円